

## 富山オリジナルブランド医薬品「越撰」(エッセン)

### 新タイプの健胃整腸薬の開発

噛み砕いたり口の中で溶かして服用するチュアブル錠。胃腸の働きを高め食欲を増進させる。

### 本業の動向について

医薬品の開発・製造を主要業とする。

家庭・企業などへの配置薬事業を大きく展開し、直接消費者の方々の声を集められるよう努力している。その配置薬事業はやや不調ではあるが、昨年度末に完成した受託専用新工場が、国内の受託により順調に稼動し黒字確保に貢献している。

### 公設研究機関との連携事業について

#### 連携先公設研究機関の名称

- ・富山県薬事研究所
- ・富山県農林水産総合技術センター畜産研究所
- ・富山県工業技術センター機械電子研究所

#### 所在地

- ・射水市中太閤山 17-1
- ・富山市婦中町千里前山 1
- ・富山市高田 383

#### 連携内容

- ・産官学共同製品の開発
- ・医薬品開発の際の技術指導

#### 連携した動機やきっかけ

富山県は他府県とは一線を画した独特な薬業界の歴史・風土が根付いている地域で、そもそも薬事研究所は県薬業界の振興を目的として設立された機関のため、常に産官学連携医薬品の開発や分析、製剤化技術の共同研究を実施している。今回の『越撰(エッセン)』や『パナワン』も、そうした活動の中から生まれたものである。

#### 連携の効果

薬事研究所が若い研究社員の技術向上を目的として、通年で開いている分析部会や生物部会は、即座に現場で役立つ内容の指導を行っているため大変役立っている。また、商品の開発時だけの指導に止まらず、県内の民間企業への支援もある上、相談・依頼を行いやすい環境が出来ていることも挙げられる。

#### 連携して最も効果のあったこと

公的機関と5年間の共同研究の中から生まれた富山県オリジナルの胃腸薬『越撰(エッセン)』と滋養強壮薬『パナワン』の上市が出来たこと。

#### 連携して最も困難だったこと

連携した事業の環境が整っているのに特に感じたことがない。

#### 連携するメリット・デメリットについて

メリットとしては、産官学連携医薬品の開発や分析の知識が得られること。

デメリットは特に感じたことがない。

#### 連携に際しての注意、アドバイスなど

漠然とした部分を持ったまま共同研究依頼をかけること。企業側が何を目指し、何を商品にしたいのかを具体的にし、公設試験・研究機関との共同開発内容を明確にした上で依頼をかけること。

### 公設研究機関との連携で行政に望む支援

商品化する際の補助金制度や、販売拡大に対する支援があれば有り難い。

#### 会社概要

設 立: 明治9年9月22日

資 本 金: 21億4,500万円

従業員数: 694名(2011年12月現在)

U R L: <http://www.koukandou.co.jp/>